まちづくり交付金 事後評価シート 岩井・辺田地区

平成21年12月 茨城県坂東市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	茨城県		市町村名 坂東市			地「		区名		岩井·辺田		面積	152ha			
交付期間	平成17年度~平成21年度		事後評価等	実施時期	平成21年度			交付対			1306百万円	国費率	0.4			
1)事業の実施状況			事業名													
	当初計画に 位置づけ、	基幹事業	道路事業(長名	道路事業(長谷・藤田線)、公園事業(八坂水生公園)、地域生活基盤施設(城合ポケットパーク整備事業)												
	実施した事業	提案事業	事業活用調査((仮称)将門館・整備計画検討)、まちづくり活動推進事業(商業活性化推進事業)													
		1	事業名						削除/追加の理由 市道1-1号線交差点改良は354号線バイパスの事業整備により交通量に変化がみ				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
	当初計画から	基幹事業	市道1-1号線交差点改良、高質空間形成施設原ロモニュメント						これもの不測除する 宣歴の関形は体乳原ロエー・カルけ 河田・大町須敷供の				市道1-1号線交差点改良の削除:影響は軽微である 高質空間形成施設原ロモニュメントの削除:影響は軽微である			
	削除した事業	提案事業														
	新たに追加した事業	基幹事業														
		提案事業														
	交付期間	当初	平成17年度~21年度			交付期間の変更による事業、										
	の変更 変 更		XX.8C			数値目標への影響										
2)都市再生整備計画 に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況		指 標		単位	従前個	直 基準年度	目標的		数 モニタリング	値 評価値	目標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現 (総合所		フォローアップ 予定時期	
	指標1 移動時間の短縮			分	25	H17	20	H21	25	20	0	あり なし	長谷・藤田線の開通により総合文・ を横断し岩井高校までの歩道経路 縮できる。	化ホールから国道354号線		
	指標2	指標2 交通事故件数		件/年	20	H17	17	H21	18	11	0	あり なし	計測時点では長谷・藤田線は未完 ・る街路事業の推進により交通量の させた。		平成23年3月	
	指標3	商店街への来街者数		人/日	1,140	H17	1,500	H21	1,500	1,367	Δ	あり ● なし	商業活性化推進事業の効果で指植 支給基準に照らして減額となったが ており、1年以内には目標達成の	が、単費により事業を継続し	平成23年3月	
	指標4	ネットワーク化された歩行 空間延長		m	3,150	H17	4,910	H21	3,500	4,910	0	あり なし	長谷・藤田線の開通と関連事業の 遊する歩道の延長を伸ばすことが	できた。		
	指標5	イベントの数の増加		回/年	5	H17	15	H21	10	10	Δ	あり ● なし	評価時点では対象事業である八城が、開園すれば公園を利用した公施する体験学習やイベント数が増	民館活動や、小中学校が実	平成23年3月	
3)その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況		指標		び (直 基準年度	目標値		数 モニタリング	値 評価値	目標 達成度※1	1年以内の 達成見込み	効果発現 (総合所		フォローアップ 予定時期	
	その他の数値指標1															
	その他の 数値指標2	值指標2														
	その他の 数値指標3	i標3														
4)定性的な効果 発現状況	長谷・藤田線が開きる遊休地であった					向の移動が	円滑化した。また	:中心市街地	也は市の発展を象	は徴するシンボル	でもあり、この街	路整備によりイメ	ージアップ効果があった。八	坂水生公園の敷地は以	以前雑草が繁茂	
5)実施過程の評価			実施内容						実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリ	ング	平成20年度に市統計書等によりモニタリンクを実施し、達成見						整備計画に記載し、実施できた 整備計画に記載はなかったが、実施した ● 今後発刊する市統計書で確認する。 整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参 プロセ		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった													
	持続的なま体制の体		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった													

様式2-2 地区の概要

岩井・辺田地区(茨城県坂東市) まちづくり交付金の成果概要 目標を定量化する指標 従前値 日標値 評価値 1. 移動時間の短縮 単位: 分 25 H17 H21 20 2. 交通事故件数 単位: 件/年 20 H17 17 H21 11 H21 1. 公共施設の整備改善による安全で快適なまちづくりの推進。 3. 商店街への来街者数 単位: 人/日 2. 各施設間ネットワーク等の強化による回遊性確保と交流環境の創出 1.140 H17 1.500 H21 1.367 H21 3. 情報発信基盤の確立と積極的なPR活動による中心市街地のイメージアップ。 4. ネットワーク化された歩行空間延長 単位: m 3.150 H17 4.910 H21 4.910 H21 5. イベント数の増加 単位: 回/年 5 H17 15 H21 10 H21



都市計画道路 長谷・藤田線



ポケットパーク(完成イメージ)



中心市街地においては、東西を結ぶ幹線道路が不足しており通勤時間帯等においては渋滞が生じているが、長谷・藤田線の整備により東西方向の移動が円滑化し、渋滞が緩和した。また歩行空間のネットワークも不足していたが 長谷・藤田線の歩道が整備されたことで安全な歩行空間が拡大した。公園の利用需要は高まっており、八坂水生公園の整備により地域の景観を生かした教育・文化の交流拠点として強化された。商店街においてはイベント等により 活性化を図っているが、まだ 来街者数の増加が不十分である。

まちの課題の変化

今後のまちづくり の方策 (改善策を含む)

新たな幹線道路や生活道路の整備を推進するとともに道路の維持管理を行っていく。

公園等についても維持管理とともに利用促進を図っていく。

商店街については街路事業の推進とともに商店街の特色を生かした独自の活動を支援していく。